

喜入校区社協だより

令和四年二月発行 第三十四号

発行 喜入校区社会福祉協議会

『会長あいさつ』 会長 福迫 正昭

コロナ禍、今年も巣ごもりのお正月でしたが、季節の巡るのは早いもので梅の花咲く2月となりました。令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大で、まん延防止等重点措置が発令され、感染拡大防止に翻弄された年でありました。

コロナ禍の中、校区の皆様方におかれましては社会福祉協議会活動にご協力いただき大変感謝しております。現在も「オミクロン株」が猛威を振るい再度まん延防止等重点措置が発令されました。各人が（ウイズコロナ対策）健康に留意し、コロナウイルスに負けないよう頑張りましょう。

今年こそ新型コロナウイルスが収束し、喜入校区の皆様が平常の生活を取り戻し、健康で過ごせますことを願っております。令和4年度も喜入校区社協活動にご協力下さいますようお願い致します。

立志の行事2年連続中止

喜入校区社会福祉協議会

令和3年度の喜入校区立志式は、コロナ禍により2年連続の中止となりました。

式典は中止となったものの、喜入中学校の厚意により体育館での写真撮影を実施



しました。また、将来の夢等を書いていただきましたが、それぞれが周りの方（保護者を含む）への感謝や、自己の問題点等への思いを述べたあと、今後の希望等を述べる

など、式の所期の目的は十分に達したものと思えます。立志者の今後の成長や活躍が期待できることを強く感じました。立志者の皆さんおめでとうございました。

『町内会の花だんを整備』 春よ早く来て まち町内会

昨年11月14日に、国道沿いにあるまち町内会の花だんの整備が行われました。

応募が集まった子供から高齢者まで62名の参加者が、秋の一日を一生懸命の作業に汗を流しました。



指導員さんの作業手順の説明のあと、桜の草抜き、肥料まきやツルコザクラの植え込み等が的確に開始されて、短時間のうちにきれいな花だんとなりました。

町内会の花だんは、これまで高齢者グループや壮年会、子ども会によ

り整備、維持されております。

会員のみなさんは、芝桜のほか今回に植えたツルコザクラの満開を待ち、早く春が来るのを願って作業を終えました。

『日帰り旅行を楽しむ』

領南実年会

領南実年会(山路一登会長)は、昨年11月2日、参加人員12名で鹿児島市の高齢者福祉バスを利用して、石橋記念公園及び仙巖園菊祭りの見学旅行を実施しました。

コロナ禍での実施に当たり、感染予防の為
①参加希望調査 ②市担当部署との調整 ③見



殿様用籠に乗った気分です

きました。また仙巖園では、菊祭りの最中であり、1万5千本ほどの菊によって、篤姫や3重の塔、殿様用の籠などすばらしさに見惚れました。

学場所等の下見・調整等を入念に実施しました。石橋記念公園では、甲突川の西田橋を移設復元してあり、当時の技術の高さに驚

また、当日は快晴で、素晴らしいリフレッシュの旅行となりました。

『旧麓集落の干支造りについて』

旧麓自治会

平成19年から始まった干支のオブジェ造りは、本年度16作目となりました。

干支造りは、「紅梅お達者クラブ」の男女合わせて約20名の方々が中心となり、自治会の役員の方々も一部含め、童心にか



干支作製途中の様子

えって物造りを楽しんでいます。

干支造りを始めたきつかは、「何とか旧麓の男衆達の話し合いの場を設けたい。」とい

う思いから、干支造りが一つの手段として選ばれたというふうには先輩達から聞いています。

今年の作品は、親子虎の愛情を描いた作品です。是非皆さん、旧麓に足を運んで下さい。



干支完成記念写真

香典返しのご寄付

有り難うございました



令和3年度に校区と町内会の福祉活動に大切に使用させて頂きます。

お名前(敬称略)は次の通りです。
(令和3年11月〜令和4年1月)

亡くなられた方	集落	寄付者
矢崎 サチ	まち	中釜 朋子
矢崎 テル	麓西	高橋 照美

この喜入校区社協だよりは、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。